

東京岐阜県人会 平成24年度 総会・懇親会 開催

平成24年11月2日(金)午後6時から文京区湯島の東京ガーデンパレスにおいて、東京岐阜県人会創立110周年記念平成24年度総会・懇親会が開催された。



総会は、本年8月に就任した山本康夫新幹事長の司会で始まり、冒頭、立川敬二会長が「10年毎の記念行事も盛り上がって良いもの。これを会員増強につなげ、まずは1000人や1100人の会としたい」と挨拶された。その後立川会長が議長となり、山本幹事長より提出議案の説明が行われ、慎重審議の結果、全ての議案が満場一致で原案通り承認可決された。午後6時半からは懇親会に移り、オープニングには今秋開催された「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」のDVDが上映され、何かわくわくする雰囲気の中に吸い込まれる感じで始まった。立川会長の挨拶に続き、古田肇岐阜県知事から、国体が成功裏に閉会し岐阜県が天皇皇后杯を受賞できた事への御礼、「岐阜ファンクラブ」や「ふるさと納税」への協力に対する謝辞、FC岐阜に対する応援要請な

どを交えて110周年記念総会へのご祝辞を頂いた。

懇親会には、200名を超える会員、国会議員、地元市町村長など多くの来賓の方にもお越し頂いた。宴は、駒田誠岐阜県議会議長の乾杯で始まり、暫く会食懇談を行った後、いよいよ110周年記念懇親会を彩るメインゲストの登場。ゲストは、岐阜県の「飛騨美濃観光大使」も務める揖斐郡池田町出身の歌手 石原詢子さん。ヒット曲「みれん酒」、最新曲「よりそい草」などを披露して頂き、その後会場の輪の中に入って歓談して頂いた。まぢかで地元出身の全国の歌手と話ができるという事で、多くの会員が取り囲み、握手攻めとなっていた。

今年もホテルの食事に加え、飛騨牛のローストビーフと飛騨牛にぎり(馬喰一代提供)・みたらし団子・ごへいもち・鮎の甘露煮と一夜干し・富有柿など郷土色豊かな料理・食材と地酒が振る舞われた。県産品の販売コーナーには、さるぼほの凝った飾り付けもお目見えし相変わらずの盛況さ。昨年まで続いた都市センターホテルから新しい会場に代わって、多少足の不便さも心配されたが大した混乱もなく、110周年を記念するにふさわしい総会・懇親会となった。帰りには、



岐阜の鮎菓子、地元市町村からご寄贈頂いた富有柿(大野町)やトマトジュース(下呂市)をお土産に、午後8時半、懇親会は名残惜しくお開きとなった。

